

じちかい

伊達自協 No. 46

•発行日 令和3年3月1日
•発行 伊達市連合自治会協議会
〒052-0024 伊達市鹿島町20番地1
伊達市役所 総務部総務課内
TEL(0142)82-3162 内線318

自治会活動紹介

各自治会から寄せられた活動の様子をご紹介します。

稀府連合自治会

研修会

～コロナについて学ぶ～



令和2年11月12日、南稀府会館において稀府連合自治会研修会を開催しました。講師に市の健康推進課の保健師を招き、「新型コロナと高齢者対策」と題した講話をいただきました。参加者は稀府連合自治会役員と単位自治会役員15名です。「新型コロナウイルスとは」「感染したらどうなる」「伊達市における感染予防の取り組み」「コロナに打ち勝つからだづくり」「これからの課題」について学び質疑応答では活発な意見交換を交わしました。

有珠連合自治会

研修会

～マイナンバーを正しく知ろう～



令和2年11月16日、有珠地区自治会長研修会を開催しました。講師に市の市民課係長を招き、「マイナンバー制度」について学びました。※「マイナンバーカード」の概要や利便性等の正しい知識を得ることで、住民への説明ができたり、マイナンバーカードの普及に貢献できたりすると考え、計画、実施しました。マイナンバーカードの普及率がまだ低い中ですが、今後の活用方法等を知ることができ、有意義な研修会になったと思います。

※マイナンバーカード…マイナンバー（個人番号）が記載された顔写真付のカードです。マイナンバーの提示と本人確認が同時に必要な場面では、これ1枚で済む唯一のカードです。金融機関における口座開設・パスポートの新規発給など、様々な場面で活用できます。（地方公共団体情報システム機構「マイナンバーカード総合サイト」より）

花だんコンクールパネル展のお知らせ

第41回花だんコンクール写真パネル展を開催します。今年度の入賞花だんと模範花だん、合わせて20点の写真を展示します。今年度も色とりどりの素敵な花だんが勢ぞろいしています。ぜひご来場ください。※入場の際は、マスク着用、手指消毒の実施、名簿への記載等感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、パネル展を中止する場合があります。何卒ご了承ください。

- 期間：3月19日（金）午前11時～3月23日（火）午後3時
- 場所：カルチャーセンターあけぼのギャラリー

新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営

【危機管理室よりお知らせ】

1、新型コロナウイルス感染症を 意識した避難所生活

昨年発生した新型コロナウイルス感染症は、2021年2月現在においても猛威を振るい、全国的な拡大状況は継続しており、日常生活についても制限付きの行動を余儀なくされている状況が続いています。このような状況の中、災害が発生し避難所へ避難した場合は、避難所生活は密になりやすく、集団感染（クラスター）の発生する危険性が高まります。

このため、避難所生活においては、新型コロナウイルス感染症を意識した行動が求められ、一人一人がルールを守る重要性を強く認識する必要があります。

2、新型コロナウイルス感染症対策 に配慮した避難所運営ポイント

(1) 避難所運営委員会についての自治会 への話し合い等

新型コロナウイルス感染症対策については、自治会等で構成する避難所運営委員会の健康管理を担当する衛生・救護班などの役割が大きく増大することが想定されますが、あらゆる担当においても感染症対策が必要になってくるため、それぞれの業務について訓練やシミュレーションを行い、必要な人員数などの確認、役割分担、手順などを話し合うことが重要です。

(2) パーティション、テント及び段ボールベッドなどの活用

飛沫感染を防ぐためにパーティションをしっかりと組み立てましょう。段ボールベッドにセットされているパーティションについても活用し、追送前の応急的創意工夫資材として活用しましょう。

また、室内用テントの利用時の注意点として、夏季における熱中症対策のために定期的な屋根の開放を実施しテント内の室温に十分注意しましょう。

(3) 共同生活である避難所では、生活ル ールを決めることが重要です。

感染症防止のため、決められた方がよいルールには、次のようなものがあります。
● 常時マスク着用。手指の消毒の徹底。なお、気温が高い場合は、熱中症対策のため、こまめに水分補給すること。

● 人と人の間隔はできるだけ2m、最低1m空けることを意識して過ごすこと。
● 毎日の体温・体調確認。
● トイレにふたがある場合は、トイレのふたを閉めて流すこと。

● 掃除当番（トイレ清掃、ドアノブ等のこまめな除菌等）。

● ゴミは密閉して廃棄。

● 靴はビニール袋に入れて各自で保管。

● 洗濯をする際は、家庭ごとを徹底。

※ ルールを決めたら、掲示板などに張り出し、ルールの周知徹底に努めます。

(4) 伊達市避難所運営マニュアル（令和 2年4月）を各自治会で確認してくだ さい。

連自協事業報告

当協議会では、三つの委員会を設置しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各委員会においても多くの活動を中止しましたが、実施することのできた事業について紹介します。

環境福祉委員会

○ 館山花壇への植栽

6月20日、館山花壇（国道37号沿い）への植栽を行いました。伊達信用金庫職員の皆さんにご協力いただき、長さ約100メートルの花壇に黄色・橙色・赤色、三色のマリーゴールド900株を植栽しました。また、今年も警察で



取り組んでいる「※ひまわりの絆プロジェクト」に参加し、交通安全の願いを込めて、ひまわりの種をまきました。咲き終えたひまわりからはたくさん種を収穫することができました。来年もこの種をまき、きれいなひまわりの花を咲かせたいと思います！

※「ひまわりの絆プロジェクト」とは・・・平成23年、京都府内において交通事故により当時4歳の男の子が亡くなりました。生前男の子はひまわりを大切に育てており、ご家族は「この子が生きていた証を残したい、このひまわりがあちらこちらで咲けばこの子も色々なところへ行けると思う」との思いからひまわりの種を京都府警に託しました。ご家族の思いと交通事故根絶の強い願いを込めたひまわりの種は平成27年夏には京

都府内の警察署、学校、自動車教習所等で「ひまわりの絆プロジェクト」として花を咲かせ、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で大輪の花を咲かせました。ひまわりを育てることを通じて、命の大切さを学び、被害者支援への理解を深めています。



○第41回花だんコンクール

毎年実施しており、歴史のある「花だんコンクール」ですが、近年は参加者数が減少しており、コンクールを盛り上げる工夫について委員会で話し合いを続けてきました。今年度は新たな試みとして、

「模範花だんの部」を創設し、これまで審査対象から外れていた模範花だんについても、コンクールに参加できる仕組みを整えました。一般の部では9か所の応募、模範花だんの部では11か所の応募がありました。8月4日、審査を行いました。市内のフラワーマスター2名の協力のもと審査を行い入賞花だんは下記のとおり決定しました。表彰式は9月25日に市民活動センターで開催されました。

なお、3月末にカルチャーセンターにて写真パネル展を開催します。



表彰式の様子

令和2年度 第41回花だんコンクール入賞花だん

※敬称略

部門	名称	賞
自治会花だん	長和20区自治会	優秀賞
	東1区自治会	努力賞
	有珠2区自治会	努力賞
	東8区自治会	努力賞
一般花だん	ふれあい館	努力賞
学校花だん	光陵中学校	優良賞
	稀府小学校	努力賞
個人花だん	新田 章雄	努力賞
個人ガーデニング	板林 慶招	努力賞
模範花だん(団体)	東3区自治会	マスター賞
模範花だん(個人)	大西 セツ子	マスター賞



学校花だんの部 優良賞 光陵中学校



模範花だんの部(団体) マスター賞 東3区自治会



自治会花だんの部 優秀賞 長和20区自治会



模範花だんの部(個人) マスター賞 大西 セツ子

広報委員会

○市長と連自協役員の懇談会

1月21日、「市長と連自協役員の懇談会」を開催しました。毎年開催しており、地域で関心が高まっているテーマについて、市長の考えを伺い、意見交換を行っています。

今年のテーマは「学校統廃合による地域の過疎化対策と今後の展望について」です。光ファイバー網の整備が来年度末をもって市全域において完了する見込み

であることから、リモートワークを推進していきたい、また、関内、長和地区で

「※国営緊急農地再編整備事業」が始まり、農業による中間所得層を増やしていきたいとのお話を聞くことができました。

さらに、市の強みである気候を活かし、新しい農業を根付かせたいという思いや、冬野菜の栽培、出荷ができることも特長であり、今後とも進展させていきたいといった考え、新規就農者の受け入れ態勢を整え農業従事者を増やしていきたい

といった農業を通じたまちづくりの考えも聞くことができました。

意見交換では、役員より「市には観光の基盤となるものが少ないように感じる」との意見が出されたことに対し、市長からは「有珠山サービスイリアからの眺望が評判を得ていることから、観光につなげていければと思う。また、大滝地区は観光開発が必須であると感じており、旧大滝中学校周辺の開発を進めていきたい。」との考えが示されました。短時間ではありま

したが、市長の考えを直接伺うことができ、実りある懇談会となりました。

※「国営緊急農地再編整備事業」：農家の皆さんの同意の上で国が事業主体となり、北海道や市も費用を分担して農家の皆さんの少ない負担で土地の整備を行うものです。区画の拡大や整形、排水施設の整備など、一体的な基盤整備を行うことで農作業の効率化を図ることができ、より良い農業の促進の一助となることを期待されています。（伊達市HPより）

コミセン紹介

コミセンとは…コミュニティセンターの略称。地域の皆さんが集会や学習、軽スポーツ、料理教室などのさまざまな活動を通じ、生活文化及び教養の向上や福祉の増進を目的として整備された複合型施設です。市には4か所のコミセンがあり、自治会を中心として組織された運営協議会がコミセンの管理運営を行っています。

昨年度、伊達紋別駅南集会所、中央区末永集会所と4か所のコミセンに非常用発電機が設置されました。不測の停電時には、備え付けのプロパンガスを使用して電力を確保することができるようになり、地域の安心の一翼を担うことが期待されます。

ちなみに、市の4か所のコミセンはそれぞれに愛称がつけられています。

- 黄金地区コミセン→はまなす館
- 東地区コミセン→みらい館
- 長和地区コミセン→ふれあい館
- 有珠地区コミセン→白鳥館



地域の自治会活動の拠点となっているコミセンについて、今回は東地区コミセン「みらい館」をご紹介します。みらい館は、平成9年に開館し多目的ホールを中心として会議室2室と和室2室、調理実習室を備えています。令和元年度中の利用者数は延べ約23,000人弱であり、4コミセンの中で最も利用者数の多い施設です。利用団体は95ほどあり、個人利用では卓球、バドミントンの利用が多くなっています。ロビーには児童図書も配置しています。

（利用例）自治会、学校、社会福祉協議会、老人会、ボーイスカウト、英語教室、そば打ち、書道、カラオケ、さんさ時雨、大正琴、フラダンス、エアロビクス、体操、ママさんバレー、絵手紙、押し花、川柳、短歌、絵画、茶道など

春から夏にかけて、敷地内に造成している花だんは連自協で行っている「花だんコンクール」の模範花だんに認定されており、来館者の目を楽しませてくれます。



編集後記 (事務局より)

まもなく卒業シーズンを迎えます。卒業の歌といえば、何を思い浮かべますか？「蛍の光」「仰げば尊し」「今日の日ばさようなら」といった声が聞こえてきそうですが、事務局員の卒業の歌といえば「旅立ちの日に」です。この曲は1991年、埼玉県の中学校の先生によって作られた曲だそうです。不安と期待の入り混じる春、新生活を迎える皆さんにたくさんの出会いとわくわくする毎日が訪れますようお祈りしています。